

(様式2)

平成 24 年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590400089		
法人名	社会福祉法人 県央福祉会		
事業所名	グループホーム 花みずき		
所在地	新潟県三条市島潟字大坪221番1		
自己評価作成日	平成24年6月4日	評価結果市町村受理日	

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kanietrue&amp;JigyoCd=1590400089-00&amp;PrefCd=15&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kanietrue&amp;JigyoCd=1590400089-00&amp;PrefCd=15&amp;VersionCd=022</a>
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人ウェルフェア普及協会		
所在地	新潟県三条市東三条1-6-14 (調査事務局:新潟県三条市高岡155)		
訪問調査日	平成24年6月21日		

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日常生活での調理や洗濯物干し、たたみ物、掃除等ご利用者が主体性を持って取り組めるように配慮している。適度な運動と、水分に乳製品などを用い自然でスムーズな排泄を目指している。ハーモニカ、踊りのボランティアに依頼し、定期的に来ていただき、ご利用者の楽しみとなっている。小規模多機能との合同行事や、普段からの往来で、交流を持ち、生活範囲の拡大を図っている。外出行事を多く取り入れ、なじみの地域や親しみのある場所へ出かけ、気分転換を図っている。畑作業などご利用者が行う事で、身体機能の維持・向上や、認知症予防にもつながっている。ご利用者の自治会を発足し、ご希望やご意見を伺う機会を設け、可能な範囲で実践している。納涼祭や収穫祭、忘年会では家族に声をかけ、参加していただき、交流の機会を大切にしている。地域の児童を対象に納涼祭を開催したり、畑で採れた野菜を調理して、地域の方に召し上がっていただく収穫祭などを催し、地域との交流を図っている。認知症ケアサポーター養成講座や家族介護支援事業を行い、地域の介護相談・認知症介護の拠点となれるように努めている。職員のスキルアップの為に、外部研修参加の機会や、園内研修開催など幅広い分野で学習する機会を多く設けている。バックアップ施設と協力して、合同行事や、本体の施設行事に参加するなど外出の場や交流の機会を多く設けている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

三条市に様々な介護サービスを展開する法人が初めてのグループホームとして平成23年4月に開所し、1年が経過している。平成18年に開設した小規模多機能型居宅介護事業所も併設しており、利用者同士が行き来したり、時には合同でイベントを開催する等、事業所間で連携を図っている。管理者は両事業所を兼務している。開所時に、併設の事業所から異動した職員も多く管理者・職員は連携が図れており、利用者・家族との関係も良好である。また、衛生管理や感染予防対策を徹底することで、利用者の健康管理に努めている。定期的開催している施設会議では、利用者のカンファレンスをはじめ、介護技術等話し合い情報共有しており、いいと思うことは積極的に取り入れサービスの質の向上に活かしている。職員の意見で、利用者の自治会を発足し、利用者が話しやすい雰囲気づくりに心がけ、行きたいところや食べたいもの・やりたいこと等うまく引き出している。1対1の関わりを重視し、スキンシップを図ることや寄り添うことで利用者の安心につながっている。利用者の家族から「おばあちゃんの表情が良くなった。笑顔が見えるようになった。」等、感謝の言葉をたくさんいただきその言葉が職員の自信となっている。地域交流の場として、納涼祭・収穫祭を開催し毎年多くの方が参加している。忘年会では家族に参加を呼びかけ、利用者や家族のふれあいは勿論のこと、家族同士が交流できる場となるよう職員が橋渡しをし、参加者全員が有意義な時間を過ごせるよう配慮している。職員は、利用者や関わる時間を多く持ち、不穏時の利用者の対応について事あるごとに話し合い、上手く関わっている。利用者の最高の笑顔が引き出せるよう全職員が同じ方向性で一生懸命取り組んでいるホームである。